

JPEC World Report

米州 2026 年 9 月版

概 況

◆トランプ大統領の支持率はイラン情勢や物価高を背景に、9 月 1 日時点の各種世論調査の平均で 39.5%と低い水準になっている。11 月 3 日に中間選挙が予定されている。

◆8 月 30 日の軍事攻撃後 31 日原油先物は反発、9 月 7 日のレイバーディを挟み 8 日続伸し、10 日 WTI の期近物は 1 バレル 102.48 ドルまで値を上げた。背景にはイラン情勢の展開に加え、1982 年 11 月以来の低水準となった戦略石油備蓄（SPR）の減少がある。9 月上旬にはフーシ派がサウジア南部のエネルギー施設に重大な攻撃を行った後、東部パイプラインにも攻撃を加えた。

◆18 日の NYMEX で原油先物初値は 3 日続落、WTI の期近物は前日比 1.61 ドル（1.6%）安の 1 バレル 100.30 ドルで取引が始まるなど、中東情勢による原油価格の暴落に反じて、持ち直しの動きが見られた。



◆9 月 14 日 2022 年 9 月 14 日
この記事は、賛助会員・情報提供サービス購読者限定です。
お申し込み後、続きをご覧くださいのための閲覧用パスワードをお送りします。

◆9 月 14 日 2022 年 9 月 14 日
賛助会員・情報提供サービス購読者の方は、
下のボタンから続きをご覧ください。

続きを読む

◆情報提供サービスのお申込みはこちら >

◆賛助会員については、こちらからお問い合わせください >